

# 令和3年度 自己評価

沖ノ橋認定こども園

## 1 本年度の重点取り組み目標・計画

一人ひとりを大切にされた保育の推進
保育の質の向上
地域と専門機関との連携
子育て支援の実施
環境を整え、子どもが主体的に五感を通じて“生きる力”を育む

## 2 学年別目標・計画

0歳児	生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ。
1歳児	行動範囲が広がり探索活動を盛んにする。
2歳児	象徴機能や想像力を広げる。
3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、意欲を持って活動する。
4歳児	信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする。
5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる。

## 3 評価項目の達成及び取組状況

主な評価項目	取組状況
<b>1 運営規程</b> 運営規程を作成しており、職員や利用者に規程を周知していますか	作成し、園内掲示をし広く周知しています。
<b>2 施設設備</b> 基準に定められている設備を有しているか	定められた基準を満たした設備を整えています。 屋外遊具については、専門業者による年2回の遊具安全点検を実施し、安全を第一と考え、取り組んでいます。 園内に設置しているAEDは看護師が定期的に点検しています。万一の場合、地域の方にもご使用いただけるようわかりやすい位置に設置しています。 保育室は岐阜県産材(ひのき)を使用した机、椅子を使用しています。防災のマットやカーテンを設置し、安全な設備を設置しています。
<b>3 園児</b> 認可定員を遵守しているか	定員数を遵守しています。

<p><b>4 教育・保育目標の理解と周知</b></p> <p>教育・保育理念</p> <p>教育・保育方針</p> <p>教育目標について、教職員間の共通理解ができているか</p>	<p>新年度職員会議において、全職員に理念・方針・目標を配布、説明し周知を図っています。</p> <p>自分で考え自分で行動するといった生きる力を育む保育・教育が現在求められています。教育とは、“学ばせる”“与える”のではなく、遊びの中で、子どもの感覚や五感によって自ら感じ、選び、学ぶことであると考え、取り組んでいます。</p> <p>リーダー会を活用し、経験を積んだ保育教諭が中心になり、3歳以上、3歳未満に分かれ、リーダー会議を実施しています。園児の成長、発達に即した教育・保育が実践されているか、保育教諭間の連携を図っています。</p>
<p><b>5 教育・保育内容</b></p> <p>教育・保育要領の理解</p> <p>教育・保育指針を踏まえた指導計画の作成</p> <p>保育の記録と次の指導計画への反映ができているか</p> <p>園児の実際の行動に合わせた環境への配慮</p>	<p>教育・保育要領について確認をしながら、指導計画の作成を行い、養護と教育の一体的な展開ができるよう環境を整え保育を行い、子どもの姿に合わせ適宜見直しをしています。また、実施後の記録を評価、課題を分析し、次の指導計画へ反映させるサイクルができています。</p> <p>職員会議や研修等において、“教育・保育要領や“幼児期に育てたい10の姿”を確認しながら、指導計画の作成、および実践の振り返りを行いました。一斉保育や行事のための保育ではなく、園児一人ひとりに丁寧に関わることを大切にすることを心がけ取り組みました。</p> <p>子どものための活動なのかを常に考えた教育・保育内容となっているかを職員間で見直し、課題を明確にしながら、理解を深めています。</p> <p>専門家の指導による英語教室、体操教室、絵画教室、ダンス教室は毎月または隔月で実施しています。各講師と保育教諭が連携しながら、子どもたちの興味や成長時期に適した教育を提供しました。</p>
<p><b>6 特別支援教育</b></p> <p>当該園児についての情報共有</p> <p>家庭・医療・福祉等の関係機関との連携</p> <p>特別支援についての理解</p>	<p>職員会議等で当該園児についての情報共有をしています。障がい担当保育士を配置し、環境整備や保育の内容に配慮しています。保護者や関係機関との連携も密にしています。</p> <p>支援が必要な園児に対し、専門機関からのアドバイスを受けて、保護者の不安感を緩和できるよう、支援判定を理解いただくよう努めることができました。その結果、適切な援助が受けられるようになり、手厚い保育環境の提供ができるよう取り組みました。療育やリハビリテーションと通常の園生活が一体となり、お子さんにとってより最善となる援助ができるよう保護者の協力を得ながら進めることができました。</p>

<p><b>7 教育・保育の記録等</b></p> <p>園児の育ちに関する帳票の整備</p> <p>園日誌等を適正に整備しているか</p>	<p>個別指導計画、児童票Ⅰ・Ⅱの記録を作成しました。</p> <p>事務日誌、クラスごとの保育日誌の記録を作成しました。</p> <p>保育事務作業の軽減と継続的に発達が記録できるよう、チャイルドケアウェブシステムを導入しています。一人ひとりのお子さんに合った保育計画、成長発達を把握することができるこのシステムを保育教諭が活用しています。児童票を意識した項目で作成できています。</p> <p>園日誌・指導計画の作成においては、各種法令や規定を順守し、行政の指導に基づき、適正な書類を整備しています。</p>
<p><b>8 幼保小連携・地域交流</b></p> <p>地域の小学校との教育交流</p> <p>地域住民の方への園行事等の周知</p> <p>参加交流を行っているか</p>	<p>5歳児の子ども達は明郷小学校訪問を行い、見学をさせていただきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策のため、行事は中止しましたが、大規模災害における避難訓練を一緒に行うことができました。</p> <p>例年は地域の高齢者団体(シニアクラブ)との交流が盛んで、年間を通じて様々な行事を一緒に行っていましたが、今年度は、感染症対策のため、地域との交流が自粛されているため活動はできませんでした。地域の代表者の方とは常時情報を共有しながら良い関係性を築けています。</p> <p>例年は、夏祭りなど、年間を通して、こども園の遊戯室等を提供し、子ども達との交流を行っていましたが、今年度は感染対策のため地域の方と協議し、中止としました。しかし、地元の公園(桜ヶ丘公園)の清掃を行うことができました。</p> <p>地域の高齢者の優しさ溢れるふれあいを通して、子どもたちに“思いやりの心”“やさしい心”を育むことは大切なので、地域の方と相談しながら時期をみながら活動再開予定する予定です。</p>
<p><b>9 虐待防止等</b></p> <p>虐待等の状況が見受けられないか</p> <p>行政との連携をおこなっているか</p>	<p>緊急性がある事態は無し。支援が必要と見受けられる家庭には、行政関連機関、学校等と連携し情報共有し対応しています。</p>
<p><b>10 健康・衛生管理等</b></p> <p>健康診断及び歯科検診の実施はされているか</p> <p>マニュアルの整備がされているか</p> <p>睡眠時の状態等を観察記録して適切な処理がされているか</p> <p>付随する研修の実施</p>	<p>保健指導計画を作成し、各健診は年に2回実施しています</p> <p>各種マニュアルを整備し、安全管理を実施しています。</p> <p>睡眠時観察記録票に呼吸の有無、鼻水、咳の有無を記入をしています。担当職員は該当の研修に参加し、その後、伝達講習を行っています。</p>

<p><b>11 保護者との連携</b></p> <p>保護者と連携して園児の情報を生かした保育を行っているか</p> <p>問題発生時の保護者連絡、園情報の発信は適切か</p> <p>保護者の園行事の積極的な参加</p> <p>保護者の園の教育、保育理解はできているか</p> <p>保護者からの要望・意見を適切に対応できているか</p> <p>守秘義務を厳守しているか</p>	<p>アセスメントを行い、個々の課題を明確にし保育を行っています。</p> <p>法人マニュアルに沿って適切に発信しています。</p> <p>入園式で年間行事の予定を知らせ、毎月のお便りにより各行事をお知らせをし、参加を呼び掛けています。</p> <p>園の保育、教育方針を入園式で伝達し日頃は、園内掲示をし理解を求めています。</p> <p>日頃から送迎時の声掛け等で日常的に意見を把握。ご意見箱の設置や「苦情解決体制」を園内に掲示しています。</p> <p>守秘義務を遵守しています。</p>
<p><b>12 教育・保育時間</b></p> <p>教育課程に準じた教育・保育時間設定しているか</p>	<p>多様な働き方に貢献できるように保育時間は月から土曜日、7時から19時までの12時間開園しており、保護者の保育ニーズに応えながら、子どもが安心できるような環境を提供できるように努めました。</p>
<p><b>13 地域との連携</b></p> <p>相談支援・情報提供相談支援事業・一時預かり事業</p> <p>保護者と地域の子育て支援団体等の連絡・調整事業</p> <p>地域の子育て支援者に対する情報提供・助言事業</p>	<p>一時預かり事業対応の職員を配置し、実施しています。子育て相談は記録をしています。</p> <p>地域回覧、公民館、近隣小児医療機関への子育て支援事業お知らせの設置をしているほか、地域の子育て支援事業への協力依頼に応じています。</p> <p>毎月1回、未就園児の親子を対象とした子育て支援活動(らっこ)は、コロナ禍のため、消毒を行い、密を回避するために人数制限を設けたりする等、感染対策を講じながら、安全に可能な限り子育て支援を行いました。</p> <p>感染症対策のため、園庭開放は自粛しました。</p> <p>行政の指示に従いながら安全に内慮しながら一時預かり事業を実施しました。</p>
<p><b>14 苦情解決体制</b></p> <p>苦情解決体制及び手順に沿って行われているか</p> <p>苦情の再発防止に対応しているか</p>	<p>マニュアルに沿って適正に処理しています。職員会議や書面の回覧により職員に周知することで再発防止に努めました。</p>
<p><b>15 食事提供</b></p> <p>管理栄養士の管理のもと食事提供されているか</p> <p>アレルギー対応が個々にされているか</p> <p>衛生自主点検がおこなわれているか</p>	<p>管理栄養士が献立を確認し、日常的に管理しています。</p> <p>アレルギー児は園長、担任、保護者で毎月検討会を実施し、除去食品の確認をしています。食事提供時にも事前確認を複数による確認後、該当園児に提供しています。</p> <p>定期的に管理栄養士、調理員が衛生管理についてミーティングを行い、給食日誌には日常衛生管理点検票を記録しています。</p>